

Title	情報資源のポートフォリオ・マネジメント - 旅行業界の競争戦略と情報システム -
Sub Title	
Author	北上真一 (Kitagami, Shinichi) 和田充夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1991
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1991年度経営学 第830号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001991-0830

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	北上 真一 (株式会社 日本交通公社)	主査 和田 充夫 副査 嶋口 充輝 青井 倫一
所属	和田 充夫 研究室	

情報資源のポートフォリオ・マネジメント －旅行業界の競争戦略と情報システム－

企業の経営資源として、「ヒト」、「モノ」、「カネ」に加えて、「情報」が重要視されるようになってから久しい。また、情報システムも、最近のダウンサイジングに見られるように、目ざましい進歩を遂げており、「情報」を経営資源として有効に利用できる企業がこれからの競争戦略上優位に立つのは明らかであろう。

しかし、現実には、アメリカ企業ではCIO（情報システム最高責任者）の更迭が続出している。これは、情報システムの投資が年々増加の一途をたどり、莫大な額になってきているが、その割には期待されるほど明確に効果が現れてこないことに起因している。つまり、このことは、企業にとって情報化投資の意味が薄れてきたわけではなく、その重要度は益々増大しており、効率的かつ効果的なシステム投資が経営戦略上必要になっていることを示している。

本研究は、旅行業界に焦点をあて、旅行商品を「情報・サービス」として捉え、旅行業界の競争戦略上必要な情報システムの構築方法として、市場ニーズを取り入れるためのマーケティング・アプローチを主体とした情報システムの構築を提言している。ここでは、従来の「エンド・ユーザー・コンピューティング」に変わる新しいパラダイムとして、「マーケット・ニーズ・コンピューティング」を提唱している。さらに、本研究ではこれをもとに、情報システムの投資分析ポートフォリオ・モデルとして「情報資源のポートフォリオ・マネジメント」の考え方を示した。本研究では、消費者情報価値モデルと旅行商品購買行動モデルの概念を中心に、これらの理論的基盤を実証するために消費者調査をおこない、消費者の情報価値分析から「マーケット・ニーズ」を捉え、旅行業界のための戦略的情報システムへの提言をおこなっている。